

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

岩上ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>『金融を通して地域社会の課題解決を考える』</p> <p>金融は経済活動の基盤であり、私たちの生活を豊かにするために不可欠な仕組みです。金融の大きな役割の一つは、新しい技術やサービスを持つ企業への投資や融資を通して、私たちの社会が抱えるさまざまな課題を解決することです。</p> <p>ゼミでは、企業分析や資産運用・投資について学ぶとともに、2年次は地域社会が抱えるさまざまな課題の中からテーマを決め、調査・分析しながら投資を活用して解決策を考えるプロジェクトを1年間かけて行います。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>1年生後期(演習Ⅰ):企業分析、資産運用・投資を学ぶ 企業分析の基礎を学びます。同時に、ゼミ生は担当教員の「ファイナンス論」を履修し、資産運用や投資についての実践的な知識を身に付けます。</p> <p>2年生(演習Ⅱ・卒業研究):チームでプロジェクト研究する 3～5人でチームを組み、地域社会が抱える課題の中からチームごとにテーマを決め、調査・分析しながら課題解決の方法を考えていきます。調査では、フィールドワーク(学外の識者インタビューや現場見学など)も行います。プロジェクトの成果をまとめ、「日経ストックリーグ」(日本経済新聞社が主催するチーム対抗の金融経済・投資学習コンテスト)に応募します。日経ストックリーグの応募レポートが卒業論文となります。今年3月卒業生は「持続可能な畜産業」、「離島の医療問題」というテーマでプロジェクトを行い、1チームが1次審査(大学生の部720チーム中の72チーム。短大では唯一)を通過しました。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>企業の人事部にいた経験をもとに、就職活動全般について相談に乗り、指導します。編入や公務員志望者についても出来る限りのサポートをします。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>日経STOCKリーグのコンテスト提出レポートが卒業論文となります。従って、個人での卒業論文作成は必要ありません。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>以下に該当する学生の応募を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域が抱える課題に関心を持ち、主体的に学ぶ意欲をもつ人。 ②3～5人程度のチーム活動に、積極的に取り組むことができる人。 ③大学生としての基本的なマナーを守れる人。
<p>その他</p>	<p>希望する学生は、応募前に研究室(3号館4F-411)まで来てください。ゼミ活動の様子や日経ストックリーグの説明など、何でも質問に答えます。あらかじめメールで予約して貰うほうが確実。(iwakami@k-kentan.ac.jp)</p> <p>前期に「金融論」の講義を履修している必要はありません。履修していないことがゼミでの学習や研究、成績評価に不利になることもありません。</p> <p>担当教員について:研究室HP(https://www.iwakami-lab.com)を参照</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

岡村(俊)ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>ゼミのテーマは“情報化を中心としたシステムと人間の関わり合い”です。コンピュータやネットワークを中心としたモノ、社会、システムが人間とどのように関わっているのか明らかにし、快適かつ効率的な(職業)生活をしていこうということです。簡単に言うと、“ICT(情報通信技術)を活用することで、ラクして、いい仕事しよう”となります。</p> <p>ヒット商品や心理学に関して学ぶこともあります。あくまでも(働くことを含めた)人間の生活からの視点で考えていきます。</p> <p>岡村(俊)はICTの専門家でもあります。コンピュータをバリバリやりたいならこのゼミは1つの選択肢となります。一方、「コンピュータは苦手、でもうまくなりたい」という学生が選択してもかまいません。どうして苦手なのか、コンピュータのどこが悪いのかを知ることができ、苦手意識を克服することができるかもしれません。ICTに興味がない人はこのゼミには向いていません。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>基本的に“演習1”と“演習2”は“卒業研究”に向けての準備だと考えます。卒業研究は“勉強”ではなく“研究”なので、世の中に役に立つ新しい事実を自ら発見することが望まれます。また、学習と実益を兼ねて、学内あちこちのICT環境改善(パソコンや周辺機器の設定とか)など実践的な活動をやることもあります。</p> <p>ゼミの運営は基本的に学生主体が望ましいところです。学生の運営を教員がサポートする、というのが理想です。状況が許せば、工場見学など授業時間外での活動も、できる限り学生の希望に対応していきたいと考えてます。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>就職先、進路、書類の書き方など学生の希望に応じて、できる限りのアドバイスはします。こちらからなにか強制することはありませんが、たまに活動状況に関して確認することはあります。指導や助言はしますが、進路選択・就職活動はあくまでも学生自らの責任において行うものであると考えています。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>ゼミのテーマから大きく外れなければ、内容、字数ともに自由です。動画などのデジタルデータでもかまいません。各自のテーマは演習を進める中で自分で決めていくこととなります。内容によっては複数名での執筆も可とします。内容に応じて、実地調査やアンケート調査、実験なども含めることもあります。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>自分の考えを持つと同時に、その考えを表現する(相手に伝える)ことを望みます。基本的にゼミ生を自立した“おとな”として扱います。“おとな”になれない、“おとな”になろうとしない学生は、最低限の学習しかできないと思ってください。</p>
<p>その他</p>	<p>何か質問があれば、okamura@biz-kpc.netにメールをするか、研究室(2号館1階)を訪ねてください。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

岡村(雄)ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>会計情報を読み解き、社会の諸問題を考える 会計情報(主に財務諸表)の初歩的な読み方と活用の仕方について学びます。簿記の学習歴は問いません。初学者であっても、株式会社のような企業ばかりでなく、自治体等の公的部門の組織の会計情報もそこそ分析できるようになります。より高度な分析は簿記会計をしっかりと学ぶ必要がありますが、それは希望者のみ指導します。 本演習の目的は、会計情報の読み方という技術的な学習を最小限に留め、企業や自治体等の組織を分析し、さらに一歩進んで、私たちの社会で発生している様々な問題(コロナウイルス感染拡大による景気後退、環境問題等)について考察することです。 簿記検定等の資格合格を目指す簿記愛あふれる方だけでなく、企業と社会の関係、社会における企業の役割や機能について関心がある方も歓迎します。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>開講当初はモノポリー(ボードゲーム)、県大祭における模擬店経営を通して、初歩的な簿記会計を実践的に習得します。ここまでは教員が主導しますが、その後は徐々に学生主体の運営に移行することが望ましいと思っています。本演習の大まかな計画は次の通りです。</p> <p>演習Ⅰ:複式簿記会計の実践的学習、基本テキストの講読 演習Ⅱ:会計情報分析の実践演習、卒業研究の計画 卒業研究:毎週、研究の進捗を報告しながら、論文にまとめる</p> <p>過去に実施した課外活動として下記のものがありますが、企画したのは学生さんですし、参加はあくまで任意です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定対策の学習会 ・長期休暇を利用した合宿(垂水市、南九州市、本学) ・調査旅行(東京都、京都府、福岡県、熊本県)
<p>就職指導の方針</p>	<p>履歴書、エントリーシートの添削、小論文の対策等できるかぎりサポートします。</p>
<p>卒論の要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本テーマにしたがって論文を書いてもらいます ・字数制限は設定しません
<p>学生への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・些細と思われることも遠慮なく相談してください ・気持ちの良い挨拶を心がけ、ルールやマナーを大切にしてください
<p>その他</p>	<p>なにごとにも向き不向きがあります。不向きと悟れば違う道を探しましょう。本演習に関心のある方は気軽に研究室を訪ねてください。事前に連絡をもらえれば助かります。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

倉重ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>このゼミでの基本テーマは、「コンピュータを用いた意思決定」です。ここでのコンピュータを用いるとは、プログラミングを行ったり、エクセルをちょっと高度に利用してみたり、特殊なソフトを使うことです。さらにサブテーマとして、「観光」をあげています。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演習ⅠとⅡでは、エクセルを利用したプログラミングやデータ解析、シミュレーションなどを学んでいきます。ゼミ生の習熟具合や希望に応じて、「エクセルを使った鹿児島すごろく」の作成や「観光地の評価」、機械学習(AIの一部)への取り組みも考えています。また、コンピュータを用いる課題以外にも人前で話すことや思考力を養う課題などがあります。 ・卒業研究では、基本的に自分が興味を持てるテーマで卒論を書いてもらいます。 ・課外活動は、学生さんからの要望があれば実施します。
<p>就職指導の方針</p>	<p>私に”できる範囲内”でのお手伝いはさせていただきます。特に間接的な就活支援になりますが、SPIの非言語処理問題やPC検定への質問・相談は歓迎します。また、面接練習用にビデオカメラなども準備しています。これらは希望する学生さんのみを対象にするもので、こちらから無理強いすることはありません。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>テーマなどは自由で、複数名で取り組むことも可能とします。分量に関しては、その内容によります。</p>
<p>学生への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも現段階でプログラミングなどコンピュータを扱うことに興味があること(経験はまったく問いません)。 ・チームでの活動を基本とするので、最低限度の協調性は必要かと思えます。 ・後期開講予定の統計学は受講してください。
<p>その他</p>	<p>このゼミは、以下のような人が向いている気がします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、情報関連分野に就職を考えている人はもちろんですが、ワンランク上のエクセル使いを目指す人 ・数字を扱うパズルが好き(得意である必要はありません) ・フェルミ推定が楽しそうと思える人 <p>(フェルミ推定については、ネットで調べてみてください。過去の課題例: 県短で1年間に消費されたトイレトペーパーのロール数、県短内で1年間に発生した消しカスの重量、県短内での1年間のタイピング数、県短の門を1年間に通過した人数などの推定)</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

瀬口ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>私の講義科目である、マーケティング論や経営戦略論が基本テーマになります。マーケティング論でいえば、「なぜ売れる商品と売れない商品があるのか」、「ブランド力を高めるためにはどうすれば良いのか」、「海外で行うマーケティングは、日本国内で行うマーケティングと何が違うのか」などについて。経営戦略論では、「企業と企業はどのように競争しているのか」、「ライバル会社に勝つためにはどのような手段があるのか」、「企業の行動は社会に対してどのような影響を与えるのか」などの疑問について考えていきます。</p> <p>これらの疑問は、すぐに答えが出るものではありません。1年生後期の【演習Ⅰ】で基本文献を読み、マーケティング論や経営戦略論の基本的思考と理論枠組みを学びます。そこで得られた知識を、2年生からの【演習Ⅱ】と【卒業研究】のなかで、具体的な商品や企業に活用させていきます。</p> <p>過去の卒業生の多くは、卒論のテーマとして、「ディズニーリゾート」、「ユニクロ」、「ルイ・ヴィトン」、「アニメ産業」、「K-POP」、「健康食品産業」など、自分が興味を持っている具体的な企業や産業を取り上げました。その他にも、広告の効果やドラッカー学説の検討など、理論的に考察した研究もありました。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>・「演習1」では、各自で興味のある本を1冊選択し、そのなかの1～2章分を担当します。皆の興味が一致した場合は、ゼミで共通の本を指定します。</p> <p>・具体的には、以下のように進めていきます。 ①文献を決定し、担当者を割り振る。②担当者は、自分の担当箇所をレジュメにまとめ、発表当日に他のゼミ生に配布する。③報告する際は、レジュメに基づきながら担当した箇所の内容を説明し、自分が考えた論点を提示する。④他のゼミ生は、報告者への質疑や提示された論点について意見を述べる。</p> <p>・「演習2」では、演習1での学習状況を見極めながら、応用文献の発表または卒業研究に向けたテーマ設定などを行う予定です。</p> <p>・「卒業研究」では、卒業論文の執筆がメインになります。各自のテーマに基づき、研究内容や進捗状況などを随時報告してもらいます。</p> <p>・新型コロナウイルスの状況次第ですが、ゼミ生の希望に応じて、学内開放(学祭)への参加、工場見学などのゼミ旅行、食事会等の活動を行いたいと考えています。このような活動に積極的に取り組みたい学生さんの応募を待っています。 ただし、こちらから無理に計画することはありません。皆さんから自分たちの希望を私に伝えて欲しいと思います。なお、ゼミの時間以外の活動の参加は任意であり、参加の有無によって成績に差を付けることはありません。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>希望者に対して、企業研究、履歴書の書き方、面接対策などを出来る範囲でお手伝いします。ゼミ以外でも、希望があれば時間を取って、個別に相談に乗るつもりです。</p> <p>また、就職活動に必要なとされる能力(論理的に考える、自分の考えを持つ、自分の考えを相手に分かるように伝える、相手の話を聞く、質問の意図を読み取る、など)は、ゼミ活動のなかでも養成できると考えます。したがって、普段のゼミ活動においても、就職活動直前になって困らないように、前述した能力を身に付けられるよう指導するつもりです。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>卒論のテーマは、私が指導可能な分野であれば、何でも構いません。</p> <p>テーマ設定や書き方などについては、ゼミのなかで具体的に指導していきます。文字数は特に設けていません。心配しなくても、書くべきことを書いていけば、十分な文字数になります。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>現時点での知識は一切問いませんし、所属する専攻や私の授業の受講経験も関係ありません。</p> <p>しかしながら、ゼミに参加し、ともに学ぶにあたって、以下の点を守ってほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な理由が無い限り、欠席をしないこと。欠席する際は必ず事前に連絡をし、無断欠席をしないこと。 ・自分が担当すること(担当する章の報告など)には責任を持つこと。 ・ゼミでの意見交換や議論に、積極的に参加すること。 ・「黙っていても何かしてくれる」のではなく、「自分たちでゼミをつくっていく」気持ちを持つこと。
<p>その他</p>	<p>ゼミについて質問があれば、seguchi@k-kentan.ac.jpまで遠慮なくメールしてください。</p> <p>私と直接話して相談したい場合も、上記のメールアドレスにメールを送ってください。お互いの時間を調整して相談に乗りたいと思います。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

宗田ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>【基本テーマ】 会計学の視点による中小企業の調査・研究 【概要】鹿児島県内の中小企業を事例として、ビジネスモデルや会計について学び、経営を行なっていく上で、会計の果たす役割について検討していきます。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>演習Ⅰ、Ⅱ：中小企業に関連する基本書を通読したり、企業の調査・分析手法について学びます。 (同時に中小企業関連資格の勉強も行う予定です。) また、一人(ないしグループ)で、1社選んで、実際に調査分析をしてみようと考えています。 卒業研究：演習ⅠおよびⅡにおける学修をもとに卒業論文の作成を目指します。 ゼミ運営の基本方針は以下の通りです。 「勉強の方法を学ぶ」、「知識・技術の習得」、「交流と協調」、「よく遊び、よく学ぶ」</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>どのような進路であっても、可能な限り皆さんのリクエストに応えます。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>各自で設定した卒論テーマに従って、卒業論文を作成していただきます。 字数制限は特にありません。詳細なテーマ等は過去の学生論集を参照してください。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>現在の知識や技術ではなく、次のような学生の参加を望んでいます。 ・挨拶をしたり、時間を守ったりするなど、ルールやマナーを守ることができる学生。 ・勉強に限らず、自らの目標もしくは目的に向けて学生生活を送っている学生。 ・サークルや自治会活動、大学イベントなどに積極的にかかわれる学生。 ・ゼミに入った場合、会計関連科目(簿記論、原価計算、会計学総論、財務会計論、会計情報論、管理会計論など)を履修していただくと幸いです(強制はしません)が希望します。</p>
<p>その他</p>	<p>【担当者自己PR】 担当者のプロフィール等に関しては、宗田健一会計研究室のホームページ(http://sota.labo.ac)で確認してください。 連絡先アドレス:sota*k-kentan.ac.jp (*は@に換えること) 可能であれば、ゼミ配属後のミスマッチを防ぐために、事前に研究室を訪問したり、私と話したりすることをお勧めします。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

竹中ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>テーマは、「経営学を学び、これらからの働き方を考える」です。 経営学のゼミですので、企業やその活動内容についての理解を深めていきます。同時に、私たちにとって大事な問題である、企業との「働き方」についても考えていきます。「良い企業とはどのような企業なのか」「望ましい働き方とはどのようなものか」などのテーマについて、テキストでの内容を手がかりにして、ゼミで議論を行います。</p> <p>テキストは「みんなの経営学」(佐々木圭吾著)を候補として考えています。 ゼミのメンバーが決まれば、テーマやテキスト、進め方について改めて考える機会を設けるつもりです。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>大きな流れとしては、以下のようになります。 演習1:テキストを中心として、経営学や企業を考える知識を得る ↓ 演習2:①各自の卒論のテーマを設定し、執筆の準備をはじめ ②引き続きテキストの内容を取り上げる ↓ 卒業研究:卒業論文を仕上げる</p> <p>ゼミは、基本的には学生が中心になって活動していきます。 ゼミ生同士で考えていく時間を多くしていくつもりです。</p> <p>ゼミでは、各自のテーマについて問題意識を持って考えていくことが大切です。自分の意見を述べると共に、他の学生からの質問や感想にも耳を傾けることで、様々な問題の理解が深まっていくようなゼミ運営ができることを望んでいます。</p> <p>なお、ゼミ合宿等の大学外での活動の予定はありません。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>就職は皆さんにとっての大きなテーマです。できるだけサポートをしていきたいと考えています。これまでは、履歴書作成や志望動機、自己PRなどどのように書けばよいかについて、アドバイスしてきました。また、具体的な求人情報は学生課にありますので、そことの連携も行っていきます。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>卒論の分量については、目安としてA4用紙10枚程度(12000字～15000字程度)が必要です。テーマについては、経営学や、ゼミで取り上げたテーマでなくても構いません。自分で関心があるテーマを見つけ、それについてじっくりまとめることができれば大丈夫です。1年生の演習1の終盤からそれぞれと意見交換しながらテーマや内容について考えていく予定です。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>ゼミは少人数で運営されるので、一人一人の発言や学生自身の考え方・問題意識が大切です。そのためには、それぞれの人が何を考えているのか、言葉や文字にして他の人に伝えていくことが必要になります。また、伝える方法にまだ慣れていなければ、ゼミなどの機会を活用して練習していくことで、経験値が上がっていきます。このようなことを理解してくれる学生を望みます。</p>
<p>その他</p>	<p>ゼミについて何か質問がある場合は、takenaka@k-kentan.ac.jpまでメールで連絡するか、授業後や研究室などへ直接質問に来てくれれば対応します。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

野村ゼミ

基本テーマ	<p>世界人権宣言や日本国憲法で保障された基本的人権。これが深刻に侵害されたヨーロッパのユダヤ人強制収容所(アウシュビッツなど)や日本のハンセン病療養所。この2つの負の遺産について学び、人権の大切について考えます。</p>
ゼミ運営方法	<p>具体的にどんな運営が行われるかは、基礎ゼミが野村ゼミだった人に聞いてもらうのが一番ですが、研究室に来てもらえばいろいろお話しします。</p> <p>海外でも日本でもコロナ規制が無くなり国内・海外ともに自由に行けるようになったことを受けて、希望者がいたら、まず国内13か所のハンセン療養所のうち主なところ(鹿屋の星塚敬愛園、奄美の和光園、東京の多摩全生園、岡山の長島愛生園、沖縄の愛楽園など)にも行ってみたいですし、さらに、同様の「負の遺産」である欧州のユダヤ人強制収容所などに行ってみたいです。</p> <p>また、これも希望者がいたら、長島愛生園を中心に推進されている世界遺産登録活動にも関わってみたいと思います。</p> <p>もちろん、これらは希望者が学びを深める活動であり、学外活動への参加は任意で成績評価に関係しません。参加しなくても、ユダヤ人強制収容所やハンセン病療養所について学び、人権について考えられるようにします。</p>
就職指導の方針	<p>私は県短に30年以上勤めているため、ゼミの卒業生が400人ほどおり、ほとんどの地元企業に卒業生がいます。編入生・海外留学生も多く海外勤務経験のある卒業生もいます。これらの卒業生にゼミに来てもらい相談に乗ってもらいながら皆さんの就活・編入・留学を進めます。</p>
卒論の要件	<p>自分で見て、聞いたことをベースに、統計、文献を引用してまとめてもらいます。対象、テーマは皆さんに選んでもらいます。人権と関係あるテーマが望ましいですが、無関係でもOKです。</p>
学生への要望	<p>国内でも海外でもLCC、ドミトリーを利用すれば、想像以上に格安で旅行できます。ヨーロッパ2か国計1週間で8万円くらい(航空券往復+ホテルの合計)。せっかくコロナが明けたのだから、旅行を楽しんで見ようという気持ちの人は是非、研究室に話を聞きに来てください。</p>
その他	<p>野村ゼミに応募を考えている人は、応募する前に2号館3階の野村研究室に来てもらいたいです。授業時間以外は毎日午前8時半から18時頃まで研究室にいますのでアポは不要ですが、事前に連絡しておいてもらえると確実です。</p> <p>携帯090-8298-0909、メールspjdc453@gmail.com</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

福田ゼミ

基本テーマ	<p>ロシアによるウクライナ侵攻は、これまでの国際秩序に深刻な影響を与えました。国際社会で起きる様々な出来事が、鹿児島で暮らす私たちの生活にどのような影響を及ぼすのかを考えたいと思います。グローバルな視点をもって、ローカルで活動できるようになることを目指します。</p>
ゼミ運営方法	<p>演習1では、新聞の社説の読み比べをして、社会の様々な問題に対してどのような意見があるのかを見ていきたいと思います。そしてその問題について議論したり、レポートを作成してもらいます。</p> <p>演習2では、国際関係論に関する基本的な文献の輪読をして、順番に報告してもらいます。同時に、順番を決めて毎週新聞記事についての報告してもらいます。演習2の途中から各自の興味のあるテーマについてまとめてもらいます。</p> <p>卒業研究では、各自の卒論のテーマについて報告してもらおう予定です。</p> <p>ゼミの運営に関しては、参加者と相談しながら決めて行きたいと思います。</p>
就職指導の方針	<p>小手先の面接技術などを習得するよりも、学生時代にしかできない体験、他の人と違った経験をすることを勧めます。</p>
卒論の要件	<p>「基本テーマ」に関するテーマについての卒業論文を執筆してもらいます。分量は、1万2千～1万5千字程度。</p>
学生への要望	<p>自分で考えて、自分で行動していこうというタイプの積極的な方を歓迎します。遅刻や欠席などをしないなど、あたりまえのことをあたりまえに行える学生を希望します。</p>
その他	<p>何か質問があれば、遠慮なくメールでfukuda@k-kentan.ac.jpまで問い合わせてください。直接研究室に来てもらっても構いませんが、事前にメールで連絡をもらえると確実です。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

船津ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>コミュニケーション能力、議論する力、マクロ経済学を主とした経済学に関する体系的知識、経済・社会に対する洞察力、プレゼン能力の習得・向上を目指します。これらは、一般企業、公務員等の就職活動や進学に有意義であるだけでなく、卒業後、社会人として様々な活動をする上での地力になると考えます。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>ゼミの具体的な運営方法は初回にゼミ生全員で話し合っ決めてたいと思います。そして、1年半単位ではなく、半期ごとに成果が実感できるゼミにしたいと思います。私からは、現時点では、毎回のゼミの最初の20分程度でグーグルの研修プログラムを参考にしたコミュニケーション能力向上のためのエクササイズを行い(面接対策にも有用と考えます)、その後の1時間強は、主として伊藤元重『マクロ経済学 第2版』日本評論社をテキストにマクロ経済学に関して学びつつ、学んだ内容と関連したニュース等について議論することを提案する予定です。マクロ経済学は公務員志望者や進学希望者だけでなく、一般企業での就職を希望する学生にも有意義ですし、商経学科には経済専攻であっても「経済学」の後、マクロ経済学についてさらに学べる科目が開設されていないこともこの提案の理由です。また、テキストの学習以外に数回、ディベートか新聞や海外通信社の記事等を元にした議論も行えればと思っています。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>ゼミ生の要望に沿って指導します。こちらから、あれをしなさい、これをしなさいといった指示を出すことはありません。具体的には、履歴書を書く時に相談に乗ったり、添削したり、面接の練習相手をしてアドバイスしたり、進学志望のゼミ生には、志望大学に合った勉強方法についてアドバイスしたり、勉強会をしたりといったことをしてきました。過去の先輩たち(例えば二部ゼミで2年次に地方公務員に採用され、公務員として勤務しながら学び、卒業した先輩)が他のゼミ生に伝えてくれた面接や履歴書対策のアドバイスや資料も、活用してもらおうと思っています。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>分量としては、400字×20枚以上が一応の目安です。テーマは、経済・社会に関するものであれば基本的に自由です。過去の卒論のテーマには、鹿児島県財政、鹿児島県内の市町村合併(薩摩川内市、南九州市等)、地域経済の活性化(出水市の企業誘致、「さんふらわあ」の影響、天文館の活性化等)、雇用・労働(アルバイト雇用、派遣労働、高齢者雇用、外国人労働者、女性の就業率、奄美市の雇用、中小企業のジョブ型雇用導入)、観光(鹿児島県と熊本県や福岡県との比較、霧島等のジオパークの比較等)、地域防災計画(鹿児島市と宮崎市の比較)、テレビCMと企業の売上の関係性、企業の経営分析(路線バス、ブランド戦略、コンビニ間の比較、ユニクロの分析、楽天とアマゾンの比較、東宝と東映の比較)、スポーツ(日本のプロ野球球団、野球の独立リーグ、日本女子サッカーの分析)、NPOと行政の協働、ロンドンオリンピックから見る東京オリンピック、太陽光発電の現状と課題等がありました。</p> <p>ゼミ全体やゼミの中での数人のグループで共通のテーマに取り組むことも考えられます(過去には2人で協力してアンケートを取って保育士・幼稚園教諭の人材確保と処遇改善に関する連名の卒論を書いた先輩もいます)。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>現在の知識の量、勉強や読書の得意・不得意といったことは一切問いません。また、ゼミの議論では積極的に発言してもらいたと思いますが、良いこと、感心してもらえるようなことを言おうとする必要は全くありません。しゃべることが得意でなくても構いませんから、自分が感じたこと、考えたことを素直に、出来るだけ分かりやすく伝えようとしてもらえれば十分ですし、そうしやすいようにゼミを運営するつもりです。毎回のゼミでのそうした積み重ねが、コミュニケーション能力や議論する力、プレゼン能力の向上に必ずつながっていきます。</p>
<p>その他</p>	<p>僕に実際に会ったり、話してゼミ選択の判断材料にしたいという方は遠慮なく声をかけてください。他の仕事等と重なる可能性もありますので、前日の午後9時までにメールでアポイントメントをとってもらおうと確実だと思います。数人一緒でも大丈夫です。来室時には軽くノックして、「〇〇(自分の名前)」と呼びかけてもらえると助かります。</p> <p>なお、ゼミの希望者が定員を超えた場合は、2年のゼミ生に、評価基準を話し合ってもらった上で、名前を伏せた志望書を読んでもらい、その評価を参考に判断する予定です。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

山口ゼミ	
基本テーマ	<p>〈社会問題を理論的に考察し、解決策を探る。〉</p> <p>このゼミでは、主に文献輪読によって社会問題をとらえる理論を学んでいき、卒業論文執筆を通じて問題意識の整理の仕方、資料の集め方、論理的な考え方、解決策としての自分自身の主張のつくり方などを指導していきます。</p> <p>少子化、高齢化、財政問題、地方衰退、格差と貧困、働きすぎ、新技術の登場、気候変動、差別、国際紛争その他、卒論で取り上げる題材はゼミ生個人が自由に選びます(ただし経済的視点から分析できるものが望ましい)。</p>
ゼミ運営方法	<p>演習1では、まず文献やビデオ鑑賞を通じて、戦後日本経済の歴史や、研究の方法論(研究とは何か、どのように進めるか)といった基礎について学んでいきます。</p> <p>演習2では、社会科学の理論に関する文献輪読を行い、並行して各自のテーマとしたい問題に基づいてゼミ参加者による研究報告を行います。</p> <p>卒業研究では、各自がテーマを決めて研究を進め、研究報告を中心としたゼミ運営を行いません。</p> <p>文献輪読は以下の本を例年扱い、その他はゼミ生の興味関心に合わせて選定します。</p> <p>荻谷剛彦(2002)『知的複眼思考法』講談社+α文庫 筒井淳也(2020)『社会を知るためには』ちくまプリマー新書</p> <p>演習1および演習2の最後には、それぞれ半年の成果をまとめたレポートを提出してもらいます。</p> <p>長期休暇中は各自の研究・学習に必要な本を自習するようにしてください。また、ゼミ生の希望があれば国内外への調査旅行や合宿なども実施します(ただし新型コロナウイルス等の状況次第)。</p> <p>その他、希望があれば企業見学なども随時企画します。ゼミ懇親会などの親睦企画も随時実施します(同上)。</p>
就職指導の方針	<p>就職・進学いずれにしても、基本は自分自身で進めてもらいます。</p> <p>その中でわからないことがあれば相談に乗ります。可能な限り必要な支援も行いますので、相談は遠慮せずに行ってください。</p> <p>支援の中身としては、編入試験の勉強会のチューター、志望動機の添削や自己分析の手伝いなどを過去行ってきました。</p>
卒論の要件	<p>テーマは指導の中で相談して決めていきます。字数はおおよそ12000字以上とします(図表込み)。</p>
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席をしないようにしてください。 ・しっかり勉強に取り組むことを基本としていますが、とりわけ就活の取り組みを含め、個人々の状況には配慮します。負担が大きいなどの悩みがあれば遠慮なく相談してください。 ・ゼミの課外活動(企画、調査旅行、合宿など)については、実施される場合基本的に参加を推奨しますが、参加不参加の判断は任意であり成績には影響しません。また、金銭面その他不安がある場合は相談してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活から、いろいろな物事に対する好奇心を持つことで、知の可能性はぐっと広がります。 ・個性を大切に。 ・自分の心身の健康を大切に。
その他	<p>面談の希望があればメール(y-yamaguchi@k-kentan.ac.jp)または直接予約をとってください。</p> <p>面談は研究室(3号館2階)で行います。</p>

2023年度 第一部商経学科ゼミ募集要項

山本ゼミ

基本テーマ	<p>「見る！聞く！出会う！徹底的に歩いて汗をかきながら、行政法、観光行政法、環境法を学ぼう！」</p> <p>今年のゼミでは、「行政法」、「観光行政法」、「環境法」を研究します。まず「行政法」、「観光行政法」について学びます。最初に行政法の基本事項を学習した上で、法的視点から、「都市ブランドの確立」、「ホスピタリティーの育成」等の観光振興のための施策について検討していきます。次に「環境法」を研究します。最初に環境法に関する基本的事項を学習した上で環境保護のための施策について検証していきます。また、フィールド・ワークを通じて地球の自然環境を未来に引き継ぐために、私たちがすべきことを法的視点から考察していくことにします。</p>
ゼミ運営方法	<p>演習Ⅰ：ゼミの基本テーマに関連する文献を使用し、行政法、観光行政法、環境法の基礎知識を身につけます。担当者に順番に報告してもらい、全員で議論をし、理解を深めます。</p> <p>演習Ⅱ：各ゼミ生が卒業論文のテーマを決めて、調査を開始します。</p> <p>卒業研究：卒業論文を作成します。</p> <p>フィールドワークを実施します。実際に鹿児島県の観光地に行って、観光客にアンケートをお願いしたり、インタビューをすることで、より魅力的な観光地になるためのヒントを探します。毎年、山本ゼミでは南大隅町の「雄川の滝」に行っています。20分ほど森の中を歩いて、素晴らしい感動を体験します。また、鹿児島市役所、鹿児島県庁などを訪問し、環境保護担当職員の方にインタビューをしたり、環境未来館で環境問題を学ぶことで、行政法、観光行政法、環境法のあり方を考えます。コロナの状況次第ですが、ゼミ旅行に行く予定です（費用は6万円程度）。これらの課外活動への参加は任意です。参加する意欲のある学生を歓迎します。課外活動は、ゼミの成績には一切影響しません。</p>
就職指導の方針	<p>履歴書の書き方・面接指導、公務員試験・編入試験の学習指導をします。また、山本ゼミのOGに就活対策、編入試対策を話してもらうことを予定しています。昨年度は、公務員試験に6名合格、鹿児島大学の編入試験1名合格しました。</p>
卒論の要件	<p>卒論のテーマは自由ですが、1万5千字以上を条件とします。教員を感動させるような卒論をぜひ書いて下さい。</p>
学生への要望	<ol style="list-style-type: none"> 1. 冷静かつ情熱的に学問に取り組める学生 2. やる気と根性があり、ゼミ活動に熱心に取り組める学生 <p>このような学生を希望します！</p>
その他	<p>山本ゼミを希望する学生は、必ず研究室を訪問してください。研究室訪問の際には、事前にメール(yamamoto@k-kentan.ac.jp)を送るように！</p>